

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科等設置

注1

愛媛大学教育学部スポーツ健康科学課程

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 愛媛大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	経営企画部総務課
職名・氏名	法規チームリーダー 小 玉 豊 美
電話番号	089-927-9016
（夜間）	089-927-9016
F A X	089-927-9025
e-mail	houki@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

1	調査対象大学等の概要等	
(1)	設置者	1
(2)	大学名	1
(3)	大学の位置	1
(4)	調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
2	授業科目の概要	
(1)	授業科目表	4
(2)	授業科目数	9
(3)	未開講科目	10
(4)	廃止科目	10
(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	10
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	10
3	既設大学等の状況	11
4	教員組織の状況	13
5	その他全般的事項	14

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 愛媛大学

(2) 大学名

愛媛大学

(3) 大学の位置

〒790-8577
愛媛県松山市文京町3番
(愛媛県松山市道後樋又10番13号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 スポーツ健康 科学課程 学士(教育学)	4年	20人	- 年次 人	80人	

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員 超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(-)人 20	(-)人 20	(-)人	(-)人	1.10倍	
志願者数	(-)人 129	(-)人 158	()	()		
受験者数	(-)人 108	(-)人 137	()	()		
合格者数	(-)人 22	(-)人 22	()	()		
B 入学者数	(-)人 22	(-)人 22	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-)人 1.10	(-)人 1.10	()	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[] 22	[] 22	[]	[]	
2年次	[]	[] 20	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[] 22	[] 42	[]	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [-] 1	計 [-] 22	[-] % 4.5 %
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 22人	
	(主な退学理由) ・進路変更のため退学(1人)		
平成21年度	計 [-] 1	計 [-] 44	[-] % 2.3 %
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 22人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 22人	
	(主な退学理由) ・本学教育学部学校教育教員養成課程へ転課程(1人)		
平成22年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学部 スポーツ健康科学課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次科目	新入生セミナー	1	2			○										
	コース初歩学習科目	1	2			○										
	こころと健康	1		2		○									教養科目区分からの移動(21)	
教養科目	スポーツ	1		2				○	4	2					教養科目区分からの移動(21)	
	地域と世界	1		2		○										
	生命を知る	1		2		○										
	人類と環境	1		2		○										
	こころの科学	+		2		⊖									教養科目区分の「こころの科学」、「生活と健康」、「みんなの医学」を「こころと健康」に集約して、初年次科目区分に移動のため削除(21)	
	生活と健康	+		2		⊖										
	みんなの医学	+		2		⊖										
	自然との共生	1・2		2		○										
	自然との共生	環境ESD 環境ESD演習	1・2 2・3		4 2		○		○							授業内容の充実を図るため、自然との共生の2つに分類(21)
	農林水産業と自然→自然の恵みを考える		1・2		2		○									授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(21)
	科学リテラシー		1		2		○									新規科目として追加(21)
	持続可能な社会づくり (ESD)		1		2		○									教養科目「人類と環境」から授業内容の充実を図るため枝分け(21)
	対話と人間		1・2		2		○									
	倫理と生き方		1・2		2		○									
	歴史の多様性		1・2		2		○									
	ことばの世界		1・2		2		○									
	文学の世界		1・2		2		○									
	芸術の世界		1・2		2		○									
	異文化へのまなざし		1・2		2		○									
	こころのバリアフリー		1		2		○									
	スポーツI→スポーツ		+		+				⊖	4	2					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更し、初年次科目区分へ移動のため削除(21)
	スポーツII→スポーツと教育		1		1				○	1	2					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(21)
	スポーツIII→ライフスポーツ		2~4		1				○	1						授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(21)
くらしと法律		1・2		2		○										
日本国憲法		1・2		2		○										
くらしと経済		1・2		2		○										
くらしと政治		1・2		2		○										
現代社会と教育		1・2		2		○										
現代社会の諸問題		1・2		2		○										
地域の活性化		1~3		2				○							授業の充実を図るために、新規科目名として追加(21)	
現代と科学技術		1・2		2		○										
情報と現代社会		1・2		2		○										
物質の世界		1・2		2		○										
共通教育科目																

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	自然の法則	1・2		2		○										
	宇宙と地球	1・2		2		○										
	数理と論理の世界	1・2		2		○										
	生命の不思議	1・2		2		○										
	知の最前線に学ぶ	1・2		1		○										授業の充実を図るために、新規科目名として追加(20)
	都市環境と自然	1・2		2		○										教養科目区分の科目に集約されたために削除(21)
	自然災害	1・2		2		○										教養科目区分の科目に集約されたために削除(21)
	ドイツ語Ⅰ	1		2		○										
	ドイツ語Ⅱ	1		2		○										
	フランス語Ⅰ	1		2		○										
	フランス語Ⅱ	1		2		○										
	中国語Ⅰ	1		2		○										
	中国語Ⅱ	1		2		○										
	朝鮮語Ⅰ	1		2		○										
	朝鮮語Ⅱ	1		2		○										
	フィリピン語Ⅰ	1		2		○										
	フィリピン語Ⅱ	1		2		○										
	コミュニケーション英語A	1		2		○										
	コミュニケーション英語B	1		1		○										
	総合英語A	1		2		○										
	総合英語B	1		1		○										
	英語S 1	2~4		2		○										
	英語S 2	2~4		2		○										
	英語S 3	2~4		2		○										
	英語S 4	2~4		2		○										
	情報科学	1		2		○										
	微積分学Ⅰ	1		2		○										
	線形代数Ⅰ	1		2		○										
	スポーツⅠ	1		1					○		4	2				教養科目と基礎科目に同じ科目名でカリキュラムが組まれていたが、今後は教養科目で一本化されることとなったので、削除(21)
	スポーツⅡ	1		1					○	1	2					
	スポーツⅢ	2~4		1					○	1						
	ドイツ語Ⅰ	1		2		○										
ドイツ語Ⅱ	1		2		○											
フランス語Ⅰ	1		2		○											
フランス語Ⅱ	1		2		○											
中国語Ⅰ	1		2		○											
中国語Ⅱ	1		2		○											
朝鮮語Ⅰ	1		2		○											
朝鮮語Ⅱ	1		2		○											
フィリピン語Ⅰ	1		2		○											
フィリピン語Ⅱ	1		2		○											
小計 (59科目)		-	4	111	0					4	2					
課程共通必修科目	生涯スポーツ概論	1		2		○				3	1					
	スポーツダンスキャリアデザイン論	1		2		○				1						
	運動学・バイオメカニクス	1		2		○				2						
	スポーツと情報処理→スポーツ情報処理	1		2		○					1					授業内容との一層の整合性を図るため、科目名を変更(20)
	スポーツ医学	1		2		○					1					担当教員非常勤講師が含まれているため、選択科目へ移動し、授業内容と一層の整合性を図るため、「スポーツ医学理論・実習」に科目名を変更(20)
	スポーツA	1		1					○		1					
	スポーツB	1		1					○	1						
	スポーツC	1		1					○	2						
	ボールゲームD	1・2		1					○		1					
	ボールゲームE	1・2		1					○	2						
	ボールゲームF	3		1					○							
小計 (10科目)		-	14	0	0					3	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	【スポーツ指導者養成コース】														
	生理学・運動生理学	2	2			○			1						授業内容との一層の整合性を図るため、科目名を変更(20)
	総合型地域スポーツ論	2	2			○			1						
	スポーツマネジメント論	2	2			○			1						
	スポーツイベント理論・実習	3	2				○								
	トレーニング論	2	2				○		1						
	運動処方論→運動処方理論・実習	2	2				○								
	総スポ指導実習Ⅰ	1	1					○	2	1					
	総スポ指導実習Ⅱ	2	1					○	2	1					
	総スポ指導実習Ⅲ	3	1					○							
	総スポ指導実習Ⅳ	4	1					○							
	総スポマネジメント実習Ⅰ	1	1					○	2	1					
	総スポマネジメント実習Ⅱ	2	1					○	2	1					
	総スポマネジメント実習Ⅲ	3	1					○							
総スポマネジメント実習Ⅳ	4	1					○								
選択科目	スポーツ哲学	1		2		⊖								担当教員が本学から転出したため、本科目を廃止(20)	
	体育心理学	2		2		○				1					
	スポーツ経営学	2・3		2		○									
	スポーツ社会学	2		2		○			1						
	衛生学・公衆衛生学	3		2		○									
	スポーツと栄養学	3→2・3		2		○								隔年開講になったため、配当年次を2・3に変更(20)	
	教育保健	2		2		○			1						
	精神保健	3		2		○			1						
	生活習慣病概論	3		2		○									
	救急処置	3→2~3		2		○								実習内容が長期にわたるため、配当年次を2~3に変更(20)	
	体力測定評価	3		2			⊖							担当教員の退職を控え、現行の「トレーニング論」及び「運動処方理論・実習」で補充可能なため本科目を廃止(20)	
	運動生理学実習	2		2			○		1						
	体育心理学実習	2		2			○			1					
	健康管理指導理論実習	3		2			⊖			1				「生活習慣病概論」及び「生涯スポーツ概論」で補充可能なため本科目を廃止(20)	
	アウトドアスポーツG	2・3		1			○								
	アウトドアスポーツH	2・3		1			○			1					
	アドバンストスポーツⅠ	4→3		1				○						重複履修を可能にしたため、配当年次を3に変更(20)	
	アドバンストスポーツⅡ	4		1				○	2	1					
	スポーツ健康科学演習Ⅰ	3		2			○								
	スポーツ健康科学演習Ⅱ	3		2			○								
スポーツ健康科学研究	4		4			○									
スポーツと統計	4		2			○									
スポーツコミュニケーション	4		2			○									
教育本質論	2		2			○							教職科目として他のカリキュラム表に掲載済みであるために本カリキュラムから削除(20)		
教育実践論	3		2			⊖							免許法規に適合させるために追加(20)		
教育課程論	3		1			○							免許法規に適合させるために追加(20)		
特別活動論	3		1			○							〃		
教育方法論	3		1			○							〃		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育相談論	2		2		○									教職科目として他のカリキュラム表に掲載済みであるために本カリキュラムから削除(20)
	トップアスリート論	2		2		○			2						
	スポーツ文化論	2		2		○				1					
	スポーツ分析論	2		2			○		1						
	スポーツマスメディア論	3→2		2		○				1					早期に受講させる必要が生じたため、配当年次を2に変更(20)
	からだと表現行動	3		2			○								
	運動とバリアフリー	3		2		○									
スポーツ医学 → スポーツ医学理論・実習	1		2		○			1						担当教員に非常勤講師が含まれているため、課程共通必修科目から選択科目へ移動し、授業内容と一層の整合性を図るため、「スポーツ医学理論・実習」に本科目名を変更(20)	
小計(45科目)		-	20	57	0				2	1					
【スポーツキャリア開発コース】															
必修科目	トップアスリート論	2		2		○			2						
	スポーツ文化論	2		2		○									
	スポーツ分析論	2		2			○		1						
	スポーツマスメディア論	2		2		○									
	からだと表現行動	3		2			○								
	運動とバリアフリー	3		2		○									
	総スポ指導実習Ⅰ	1		1				○	3						
	総スポ指導実習Ⅱ	2		1				○	3						
	総スポマネジメント実習Ⅰ	1		1				○	3						
	総スポマネジメント実習Ⅱ	2		1				○	3						
	アドバンススポーツⅠ	3		1				○							
アドバンススポーツⅡ	3		1				○	3							
選択科目	スポーツ哲学	4		2		○									担当教員が本学から転出したため、本科目を廃止(20)
	体育心理学	2		2		○									
	スポーツ経営学	2・3		2		○									
	スポーツ社会学	2		2		○			1						
	衛生学・公衆衛生学	3		2		○									
	スポーツと栄養学	3→2・3		2		○									隔年開講となったため、配当年次を2・3に変更(20)
	教育保健	2		2		○			1						
	精神保健	3		2		○			1						
	生活習慣病概論	3		2		○									
	救急処置	3→2~3		2		○									実習内容が長期にわたるため、配当年次を2~3に変更(20)
	体力測定評価	3		2			○								担当教員の退職を控え現行の「トレーニング論」及び「運動処方理論・実習」で補充可能なため科目を廃止(20)
	運動生理学実習	2		2			○		1						
	体育心理学実習	2		2			○		1						
	健康管理指導理論実習	3		2			○			4					「生活習慣病概論」及び「生涯スポーツ概論」で補充可能なため廃止(20)
	アウトドアスポーツG	2・3		1				○							
	アウトドアスポーツH	2・3		1				○							
	生理学・運動生理学	2		2		○			1						
総合型地域スポーツ論	2		2		○			1							
スポーツマネジメント論	2		2		○			1							
スポーツイベント理論・実習	3		2			○									

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	トレーニング論	2		2		○			1						授業内容との一層の整合性を図るため、科目名を変更と授業内容の充実を図るために配当年次を2に変更(20)
	運動処方論→運動処方理論・実習	2・3→2		2			○								
	総スポ指導実習Ⅲ	3		1				○							
	総スポ指導実習Ⅳ	4		1				○							
	総スポマネジメント実習Ⅲ	3		1				○							
	総スポマネジメント実習Ⅳ	4		1				○							
	スポーツと統計	4		2		○									
	スポーツコミュニケーション	4		2			○								
	スポーツ健康科学演習Ⅰ	3		2			○								
	スポーツ健康科学演習Ⅱ	3		2			○								
	スポーツ健康科学研究	4		4			○								担当教員に非常勤講師が含まれているため、選択科目とし、授業内容と一層の整合性を図るため、「スポーツ医学理論・実習」に本科目名を変更(20)
	スポーツ医学 → スポーツ医学理論・実習	1		2		○			1						
	小計(41科目)	-	18	54	0		-		3	0	0				
	卒業研究	4	4												
	合計(155科目)	-	60	222	0		-		5	1					

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 39	科目 129	科目 0	科目 168	科目 38 [Δ 1]	科目 117 [Δ 1 2]	科目 0 []	科目 155 [Δ 1 3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	スポーツ哲学	2	1	専門	選択	担当教員が本学から転出したため廃止
2	体力測定評価	2	2	専門	選択	担当教員の退職を控え, 現行の「トレーニング論」及び「運動処方理論・実習」で補完可能なため廃止
3	健康管理指導理論実習	2	3	専門	選択	「生活習慣病概論」及び「生涯スポーツ概論」で補完可能なため廃止

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

ディプロマ・ポリシー, アドミッション・ポリシー, カリキュラム・ポリシーの一貫性を整備するという大学全体の方針に従って, 教育学部としても, 再度アドミッション・ポリシーの見直しを行った。その過程で, 各課程・各コースのアドミッション・ポリシーが検討され, 若干の授業科目が削除されたり追加されたりした。なお, 学生には, 「履修の手引」や各学期ごとのガイダンス等を通じて周知している。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.01$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は, 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は, 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は, 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は, 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には, 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
法文学部 総合政策学科						1.07		愛媛県松山市 文京町3番	
(昼間主コース)	4	270	3年次10	1070	学士(総合政策)	1.06	平8		
総合政策学科					学士(法学)				
(夜間主コース)	4	60	3年次20	360	学士(経済学)	1.07	平8		
人文学部									
(昼間主コース)	4	125	-	470	学士(人文)	1.10	平8		
人文学部									
(夜間主コース)	4	50	3年次20	220		1.11	平8		
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	100	-	400	学士(教育学)	1.09		愛媛県松山市 文京町3番	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	40		1.10	平11		
総合人間形成課程	4	60	-	120		1.10	平20		
スポーツ健康科学課程	4	20	-	40		1.04	平20		
芸術文化課程	4	20	-	100		1.10	平20		
障害児教育教員養成課程	4	-	-	-		1.07	平11		
生活健康課程	4	-	-	-		-			平成20年度より学生募集停止
情報文化課程	4	-	-	-		-			
理学部									
数学科	4	50	-	200	学士(理学)	1.06		愛媛県松山市 文京町2番5番	
物理学科	4	50	-	200		1.12	平17		
化学科	4	52	-	208		1.08	平17		
生物学科	4	43	-	172		1.04	平17		
地球科学科	4	30	-	120		1.09	平17		
地球科学科						0.96	平17		
医学部									
医学科	6	100	3年次5	570	学士(医学)	1.01		愛媛県東温市志津川	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.00	昭48		
看護学科						1.02	平6		
工学部									
機械工学科	4	90		360	学士(工学)	1.05		愛媛県松山市 文京町3番	
電気電子工学科	4	80		320		1.04	平3		
電気電子工学科						1.03	平3		

環境建設工学科	4	90		360		1.06	平8	
機能材料工学科	4	70		280		1.06	平8	
応用化学科	4	90		360		1.05	平3	
情報工学科	4	80		320		1.05	平3	
			学科共通3年次10	20				
農学部					学士(農学)	1.10		
生物資源学科	4	170	3年次10	700		1.10	昭63	愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<教育学部 スポーツ健康科学課程>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	2			6		5	1			6		
(4)	(2)	()	()	(6)	()	[1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<教育学部 スポーツ健康科学課程>

情報提供に関する事項

① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2009 年 6 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク (承諾 する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.ehime-u.ac.jp/information/open/legal/index.html>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2009 年 8 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾 する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.ehime-u.ac.jp/information/open/legal/index.html>)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。